

第12回日本加速器学会総会

式次第

1. 広報・ウェブ幹事報告
2. 編集幹事報告
3. 庶務幹事報告
4. 行事幹事報告
5. 会計幹事報告

参考 『加速器ハンドブック』の現状報告



広報ウェブ幹事報告1/2



広報ウェブ委員

田中俊成(日大、広報幹事)、
古川和朗(KEK)、
柳田謙一(SPring-8)、

佐藤政則(KEK)、
宮本篤(広島大学)、
菊澤信宏(J-PARC)

広報ウェブ幹事報告2/2



活動内容

公募・国内外会議情報等ウェブページを随時更新中。

○ 年会ウェブ受付について

- ・ウェブ上でのクレジットカード払いへの対応を開始した。

○ 年会プロシーディングス（今後著作権が学会に帰属する旨明記）

- ・第10回年会のプロシーディングス完成版が公開済み、併せて口頭発表スライドも公開している。
- ・第11回年会のプロシーディングス原稿（PDF提出済みのみ）を年会初日より公開中。
- ・年会実行委員会の負担軽減のため、年会プロシーディングスの主要な編集作業を自動化し、原稿がそろった時点で必要な情報を追加し速やかに完成版を公開できるよう準備中。

○ 紙媒体のみの過去プロシーディングス（リニアック、加速器科学）

- ・スキャン終了、ウェブ公開用データ作成を準備中。

プロシーディングス ヘッダー・ページ番号の仕様

*Proceedings of the 11th Annual Meeting of Particle Accelerator Society of Japan
(August 8-12, 2014, Aomori, Japan)*

PASJ2014-TMPL001

日本加速器学会年会・論文投稿要領

PREPERATION OF PAPERS FOR ACCELERATOR CONFERENCES

からダウンロードできます。

以下の説明はすべて日本語で記述する場合のものです。この場合においても、JACoW の書式を日本語化したもの^[1]に準じていますが、Web での公開に伴い英語による検索・参照に対応できるよう、論文題名・著者名・所属・要旨・図表は必ず英文を入れてください。以上の理由により、JACoW とは若干書式が異なります。以下、説明文書を熟読の上、正しい書式の原稿を完成させるようお願い致します。

尚、基本的には Microsoft Word (Windows または Mac)を用いて原稿の作成をお願いします。バージョンについては、.doc ファイルの本テンプレートは

gakkai@kasokuki.com

文執筆に役に立つ情報が多く記載されていますので、是非参考にしてください。

3. 原稿の書式と書き方

3.1 用紙の設定

用紙の大きさは A4、本文は 2 段組 (2 カラム) とします。余白等の詳細は Table 1 および Figure 1 の通りです。

編集幹事報告



編集委員

委員長: 栗木雅夫 (広島大)

岩田佳之 (放医研)、大熊春夫 (JASRI)、帯名崇 (KEK)、柏木茂 (東北大)、加瀬昌之 (理研)、加藤龍好 (阪大)、菊谷英司 (KEK)、設楽哲夫 (KEK)、庄司善彦 (兵庫県大)、田中俊成 (日大)、中山光一 (東芝)、長谷川和男 (JAEA)、増田開 (京大)、内藤富士雄 (KEK)

今後の発行予定

第11巻第3号(2014.10.31)	原稿締切	8.31
第11巻第4号(2015. 1.31)	原稿締切	11.30
第12巻第1号(2015. 4.30)	原稿締切	2.29
第12巻第2号(2015. 7.31)	原稿締切	5.31

庶務幹事報告(1/2)



2014年の学会後援・共催・協賛会議 一覧

会期等	行事名称	許可日	種類
2014- 6 - 17 ~ 18	第15回 放射線プロセスシンポジウム	2014- 1 - 28	協賛
2014- 6 - 19 ~ 20	第10回 核融合エネルギー連合講演会	2013- 12 - 20	共催
2014- 7 - 7 ~ 9	第51回 アイソトープ・放射線研究発表会	2013- 11 - 19	協賛
2014- 7- 12 ~ 15	第2回 J-PARC国際シンポジウム	2014- 4 - 7	協賛
2014- 8 - 19 ~ 27	第8回 大学生のための素粒子・原子核、物質・生命スクール サマーチャレンジ	2014- 2 - 26	後援
2014- 9 - 2 ~ 5	真空夏季大学	2014- 4 - 1	協賛
2014- 9 - 11 ~ 13	2014日本放射化学会年会・第58回放射化学討論会	2013- 12 - 24	共催
2014- 9 - 29 ~ 10 - 3	21th International Collaboration on Advanced Neutron Sources, ICANS (第21回先進的中性子源開発における国際協力)	2014- 4 - 9	後援
2014- 10 - 9 ~ 10	第9回 高崎量子応用研究シンポジウム	2014- 6 - 28	協賛
2014- 11 - 18 ~ 20	第55回 真空に関する連合講演会	2014- 7 - 17	協賛
2014- 12 - 6	理研シンポジウム「稼働を開始した理研小型中性子源「RANS」」	2013- 10 - 8	協賛
2015- 7 - 27 ~ 8 - 2	国際第四紀学連合 (INQUA) 第19回大会	2013- 5 - 13	協賛
2015- 10 - 18 ~ 23	ICALEPCS (International Conference on Accelerator and Large Experimental Physics Control Systems) 2015	2014- 7 - 1	後援

庶務幹事報告(2/2)



会員数推移

2013年2月28日 会員数

正会員 679名(うち学生32名)

賛助会員 49社

購読会員(直接契約)11社

購読会員(書店経由)1社

2014年3月1日 会員数

正会員 766名(うち学生46名)

賛助会員 51社

購読会員(直接契約)11社

購読会員(書店経由)1社

2013年7月20日 会員数

正会員 760名(うち学生46名)

賛助会員 51社

購読会員(直接契約)11社

購読会員(書店経由)1社

2014年7月20日 会員数

正会員 823名(うち学生52名)

賛助会員 54社

購読会員(直接契約)11社

購読会員(書店経由)1社

行事幹事報告(1/4)



第11回日本加速器学会年会 開催状況報告

事前登録 参加申込:452名(一般会員:345名、一般非会員:61名、
学生会員:26名、学生非会員:19名、名誉会員:1名)
懇親会参加者:269名

研究発表 口頭発表:76件
ポスター発表:263件
施設現状報告ポスター:30件

講演 特別講演:
「闘わないがん治療・粒子線治療」 菱川良夫 (メイホリスがん粒子線治療研究センター)
「核融合エネルギー開発に向けた研究の現状と展望」 牛草健吉 (原子力機構)
学会賞受賞講演:5件
技術研修会:「高周波空洞技術」 肥後寿泰 (KEK)
特別セッション:「加速器放射物について」 榎本和義 (KEK)

展示・広告 企業展示:52社 54小間 (賛助会員:31社、一般:21社)
予稿集広告:7社

行事幹事報告(2/4)

第12回日本加速器学会年会 開催概要

- 開催機関： 公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
- 共催： 公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター
- 後援： 福井県、敦賀市、公益財団法人福井観光コンベンションビューロー(いずれも予定)
- 会議： 2015年 8月 5日(水)～7日(金)
- 見学： 2015年 8月 4日(火)
- 会場： 敦賀市「プラザ萬象」、及び「あいあいホール」
- 実施体制
 - 組織委員長 辻 宏和 (若狭湾エネルギー研究センター)
 - プログラム委員長 奥田修一 (大阪府立大)
 - 実行委員長 羽鳥 聡 (若狭湾エネルギー研究センター)

行事幹事報告(3/4)

第11回日本加速器学会年会 開催概要

- ・ 年会参加費事前払い対応について
第11回年会は会場の都合により事前支払いを原則とした
当日払いは値上げ
- ・ 事前払いの方法
年会参加申込みページからのクレジットカード支払い
ゆうちょ銀行への振込
- ・ Web 上での支払いの確認
入金を事務局で確認後、記録をウェブ上に表示し
次回のログイン時に、支払いの有無を確認可能とした
- ・ 事前登録参加者のうち、事前払いは 85% 程度

行事幹事報告(4/4)

加速器学会年会の運営について

プロシーディングス締切の厳守

- プロシーディングス発行が遅れないよう締切後の投稿を厳しく制限したい。
- 締切を年会開始一週間前としたが、締切後も引き続き提出を認めており、最終締切日は会期中に閉会式でアナウンス

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます

会計幹事報告(1/8)

会計方法の簡素化について

1. 貸借対照表への会費未収金の計上の廃止。それに伴い決算書での会費収入を実費化する。
2. 次年度年会の立替金と言う名目を廃止し、学会の当該年度の支出とする。それに伴い、年会決算は本当に年会期間中の収支(年会参加費や企業展示料は含む)を対象とするものとする。

加速器ハンドブックの原稿料について

1. 原稿料は3,500円／頁とする。総額1,575,000円(予定)のうち、加速器学会より915,000円(予定)を支出する。2014年度予算に計上している。
2. もし重版が発行され利益が出たとしても、加速器学会としては利益を受け取らないこととする。
3. 原稿料の源泉徴収は丸善出版でまとめて実施してもらう。

会計幹事報告(2/8)

2013年度日本加速器学会決算報告

収入の部

2013年4月1日～2014年3月31日

科目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
会費収入	(当期細目)	6,434,000	7,100,000	7,540,000
正会員	733件 × 6,000 + ジブリ 過受取分 (4件×6000)	3,928,000	4,080,000	4,422,000
学生会員	46件 × 2,000 + ジブリ 過受取分 (2000 × 3件)	46,000	52,000	98,000
賛助会員	47件(290口)×10,000	2,350,000	2,850,000	2,900,000
購読会員	11件(12口)×10,000	110,000	118,000	120,000
事業収入		13,960,141	14,220,400	14,362,406
会誌販売収入		8,000	10,400	26,500
会誌別刷収入	Vol.10, No.1～No.4	1,003,255	1,300,000	857,372
会誌広告収入	Vol.10, No.1～No.4	1,422,750	1,400,000	1,381,800
学術的会合収入	第10回年会	11,526,136	11,510,000	12,096,734
雑収入		66,386	200	621
受取利息		236	200	621
損害賠償金	大規模障害に対するネット業者からの損害賠償金	66,150	0	0
その他		0	0	0
不明金		0	0	0
収入合計		20,460,527	21,320,600	21,903,027

会計幹事報告(3/8)

支出の部

科目	細目	前期実績	当期予算案	当期実績
学会誌出版費		4,499,098	5,049,904	5,015,263
会誌印刷費	Vol.10, No.1～No.4	4,056,529	4,476,431	4,594,732
別刷印刷費	Vol.10, No.1～No.4	442,569	573,473	420,531
運営費		12,334,545	12,484,321	12,291,369
会誌発送費	発送料・手数料	261,936	289,050	576,259
学術的会合支出	第10回年会開催費	10,807,779	10,898,271	8,991,079
	委員会費等 第10回分	0 (年会支出に計上)	0	433,040
	第11回分	0 (年会支出に計上)	0	1,106,922
学会賞費	選考委員会・賞状用紙等	147,000	147,000	143,000
会場費	会議室使用料	150,000	150,000	212,909
旅費	各委員会旅費	967,830	1,000,000	828,160
事務業務費		2,958,912	3,018,913	3,923,488
名簿管理費	会員業務(原簿更新, 会費の請求, 再請求等)	311,745	344,015	320,985
事務管理費	庶務(会員・役員対応事務業務等の基礎費用)	126,000	126,000	126,000
	庶務(会議資料作成・出張・各種案内発送等)	844,819	844,819	956,429
	会計(各種入出金伝票の起票・管理等)	252,000	252,000	252,000
在庫書籍保管料	バックナンバー保管	146,352	146,352	146,352
ホームページ維持費	ホームページの維持管理	252,000	252,000	252,000
通信費	郵便, 電話, レンタルサーバ	582,832	582,832	779,331
	封筒印刷費等	112,149	110,000	120,522
備品費	パソコン, レーザーポインター	0	0	218,950
事務用品費	コピー用紙・発送用ラベル等	3,148	5,000	23,217
消耗品費	コピー機チャージ料等	166,762	166,762	245,296
運賃	宅急便等	41,301	41,000	49,151
事務局交通費	会議・打合せで出張	2,940	20,000	3,260
支払手数料	会費自動振替, 郵便振替貯金等	108,864	120,133	208,945
雑損	会費過受取返済	8,000	8,000	30,000
	2012年度未収金清算	0	0	190,000
租税公課	カード決済の手続き等(印鑑証明印紙代)	0	0	1,050
その他		394,115	0	882,748
不明金	不明金	394,115	0	882,748
支出合計		20,186,670	20,553,138	22,112,868
収支差額		273,857	767,462	-209,841
前期繰越剰余金		8,509,690	8,783,547	8,783,547
次期繰越剰余金		8,783,547	9,551,009	8,573,706

会計幹事報告(4/8)



2013年度貸借対照表 (2014年3月31日現在)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
現金および預金		前受金	
三菱東京UFJ銀行残高	5,361,881	正会員会費 (587名X 6,000)	3,522,000
郵便振替貯金残高	8,358,041	学生会員会費 (21名X 2,000)	42,000
八千代銀行残高	50,596	賛助会員会費 (265口X10,000)	2,650,000
手持ち現金残高	1,017,188		
		前期繰越剰余金	8,783,547
		当期収支差額	-209,841
合計	14,787,706	合計	14,787,706

会計幹事報告(5/8)

2013年度資産負債明細 (2014年3月31日現在)

資産の部			
科目	金額	細目	金額
現金および預金	14,787,706	三菱東京UFJ銀行残高	5,361,881
		郵便振替貯金残高	8,358,041
		八千代銀行残高	50,596
		手持ち現金残高	1,017,188
合計	14,787,706	合計	14,787,706

負債の部			
科目	金額	細目	金額
会費前受金(3月31日現在, 入金分)	6,214,000	正会員会費 (587名X 6,000)	3,522,000
		学生会員会費 (21名X 2,000)	42,000
		賛助会員会費 (265口X10,000)	2,650,000
合計	6,214,000	合計	6,214,000

剰余金の部			
科目	金額	細目	金額
前期繰越剰余金			8,783,547
当期収支差額			-209,841
剰余金の部合計			8,573,706

会計幹事報告(6/8)

剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	8,783,547
当期収支差額	-209,841
次期繰越剰余金	8,573,706

監査報告書

日本加速器学会の平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成 26 年 8 月 5 日

日本加速器学会

監事 小林 仁 

監査報告書

日本加速器学会の平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日の決算書について、監査の結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成 26 年 8 月 4 日

日本加速器学会

監事 安東 愛之輔 

会計幹事報告(7/8)

2014年度日本加速器学会予算案

日本加速器学会 2014年度予算案

収入の部

2014年4月1日～2015年3月31日

科 目	細 目	前期実績(A)	当期予算額(B)	増減高(B)-(A)
会費収入	(当期細目)	7,540,000	7,780,000	240,000
正会員	760名 X 6,000	4,422,000	4,560,000	138,000
学生会員	50名 X 2000	98,000	100,000	2,000
賛助会員	54社(300口) X 10,000	2,900,000	3,000,000	100,000
購読会員	購読会員10件(12口) X 10,000	120,000	120,000	0
事業収入		14,362,406	13,608,000	-754,406
会誌販売収入	学会誌売上	26,500	30,000	3,500
会誌別刷収入	Vol.11, No.1～No.4	857,372	1,000,000	142,628
会誌広告収入	Vol.11, No.1～No.4	1,381,800	1,500,000	118,200
学術的会合収入	第11回年会	12,096,734	11,078,000	-1,018,734
雑収入		621	500	-121
受取利息		621	500	-121
その他		0	0	0
不明金		0	0	0
収入合計		21,903,027	21,388,500	-514,527

『加速器ハンドブック』の現状報告

- 執筆状況
執筆依頼済： 90%
内、約50%が脱稿済
執筆未依頼： 10%

- 現在、各項目について担当委員が執筆者に状況の確認及び督促を行いつつある。
- 執筆未依頼分についても、記事の分量に応じて、8月中旬または9月中旬までに原稿を集めるように努力している。
- 執筆済については、査読を始めている。その他についても原稿が出来次第、査読を行う。

スケジュール(案)

脱稿	2014年8月中旬(または9月中旬)	
査読	2014年7月～	
初校出校	2014年8月～	
初校校正	2014年8月～	執筆者・編集委員
再校校正	2014年9月～	執筆者
三校校正	2014年11月～	編集委員